

平成19年11月2日
生活環境部原子力安全対策課

原子力機構大洗 高速実験炉「常陽」燃料交換機能の一部阻害について

本日（11/2）、原子力機構より、現在定期検査中（5/15～）の高速実験炉「常陽」において、実験装置の一部が炉内貯蔵ラックに正常に収納されなかったため、燃料の一部が交換できない状態にあるとの報告を受けました。

実験装置自体は、安全上重要な機器ではありませんが、燃料交換機能の一部が阻害されることから、安全協定上の事故・故障等に該当すると判断しましたのでお知らせいたします。

注 炉内貯蔵ラック； 燃料集合体及び照射実験装置等を炉内で一時的に保管するための設備

1 発生日（報告日）

平成19年11月2日（金）

2 発生場所

原子力機構大洗研究開発センター 高速実験炉「常陽」

3 状況

（1） 定期検査中における燃料交換作業の準備中、燃料交換機の荷重計の数値に異常が生じた（6/11）ことから、原因の調査を進めたところ、実験装置の一部が炉内貯蔵ラック上部に突き出ていることを確認した（10/10）。

その後、今回の事象を解析したところ、燃料の交換が一部出来ない状態にあることが判明した。

（2） 放射性物質の漏えい、人の汚染・被ばく； なし

（3） 環境への影響等； なし

（4） 原因； 実験装置の一部が何らかの原因により、炉内貯蔵ラックに正常に収納されなかったものと推定。詳細については調査中。